

## 別紙1

### ながふく障がい者プラン（重点施策）の進捗状況に対する御意見・御質問

No.	施策内容	御意見・御質問
1	グループホーム整備への支援	<p>[御意見]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・後期に2か所設置を目指すとなっているが、2020年度計画では、具体的な時期や設置内容協議となっている。遅いのでは？</li> <li>・以前も発言をしましたが、箇所数ではなく、人数表記の方がリアル感があつていいと思いますが。</li> </ul> <p>2か所10名とか…</p> <p>長久手市内にグループホームが設置されながら、利用者が長久手在住ではないことをどう考えるか、検証が必要な気がします。</p> <p>国・県補助金では当事者・保護者・関係者のグループホーム設置の期待とそれに対するスピード感が伴わなく、市町の単独補助金・自己資金作りのノウハウ等の検討も必要かと思います。</p>
2	グループホームの体験利用の促進	<p>[御意見]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・設置にむけた研修や見学などとても積極的に進められていると思いますが、圏域などで取り組んでいった方が費用対効果が大きいと思います。</li> </ul>
3	基幹相談支援センターの設置	<p>[御意見]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・長久手市に限らず、相談員の数を増やす市町が多いのですが、専門性がそれに伴っているのか、いさか疑問です。人材不足という時代ではありますが、障害福祉サービス事業（での複数での支援）とは違い、対人援助（マンツーマン支援）ということでその専門性が問われる職種だと思いますので、そのあたりの検証が必要だと思います。</li> </ul> <p>ほかの市町の基幹相談センターと違い、長久手市さんは行政主導で運営されている感が強く感じます。</p>
4	個別訪問調査の実施	<p>Q、2017年度の評価がBとなっているが、個別調査の割合は、全体障がい者の何%か。実施する効果はありますか。</p> <p>A、調査対象者134名中、実施者は117名（H30.6現在）で、全手帳所持者の約7%にあたる。実施により生活状況等の把握ができたため効果はあった。</p>

		<p>[御意見]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅のニーズをいかに聞き取りし、地域課題とするかということでは大きな取り組みだと思います。やりっぱなしにせず、地域課題の検証と対応をお願いします。</li> </ul>
5	乳幼児期からの療育支援体制の整備	<p>[御意見]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉だけの取り組みではないので、連携が難しい分野ですね。ネットワークの構築をよろしくお願ひします。</li> </ul>
6	各保育園等への巡回相談	<p>[御意見]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育園の中でどう取り組んだらいいのか悩んでいる保育士（保育園）も多い。小・中学校の通常学級に在籍している発達障がい者の割合は約 6.5%といわれ、保育園にも発達障害の子どもがいるのは当たり前の時代となっている。しかし保育士は発達支援の専門家ではないため、巡回指導の持つ意義は大きいと思います。今の取り組みを検証しつつ、より質の高い巡回指導のあり方の検証をお願いします。</li> </ul>
7	スクールソーシャルワーカーの設置	<p>[御意見]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉からはよく見えない取り組みになっていると思います。いかに連携していくかを検討をよろしくお願ひします。</li> </ul>
8	農業を活用した雇用機会の拡大（農福連携）	<p>[御意見]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2017年度自己評価がBとなっているが、2018年度に先進地事例等の情報収集となっているが、必要か。</li> <li>・どこの市町も試行錯誤していますが、この分野も「福祉」だけではなかなか進まないものです。いかに連携していくかを検討をよろしくお願ひします。</li> </ul>
9	就労支援コーディネーターの設置	<p>[御意見]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いよいよ事業開始ですが、アクトさん、就労支援事業所さん、就労定着支援事業（まだ長久手市さんには設置されていませんが）も平成30年度から新規事業として始まりました。現場が混乱しないためにも役割分担を明確にすべきだと思います。</li> </ul>

		<p>Q、最終的に何を目指して行くのか。具体的には？</p> <p>A、進行管理シート記載のとおり「市役所の業務の一部を就労支援施設等へ委託する」ことを目指します。</p> <p>[御意見]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2017年度の自己評価がCとなっている。その理由が市役所全体での就労支援ができなかった結果と読み取れるが、年次目標に記載されていない。</li> <li>・各市町で試行錯誤しながら「市役所での就労体系」を実施しているので、その取り組みに学びながらより良い取り組みを進めていってください。</li> </ul>
10	市役所での就労体験の実施	<p>[御意見]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・支え合いマップは、個人情報の観点で取扱いは留意する必要がある。マップの利用方法の十分な検討をお願いします。</li> <li>・縦割りゆえいろんな部署からいろんな取り組みが示され、市民もよくわからない中、関わっていると思われます。また、いつも同じ参加者・顔ぶれなのも気になります。いかに広く市民の手でとともに「支え合いマップ作り」ができるかですよね。</li> </ul>
11	支え合いマップづくり	<p>[御意見]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的な交流の場の提供には、コーディネーター役が必要となる。具体的な施策が必要です。</li> <li>・上からの大きな取り組みばかりではなく、小さい単位（自治会・町内会・子ども会など）から交流できる取り組みも面白いような気がします。</li> </ul> <p>私が関わっている市町の放ディで夏休みに防犯の取り組み（愛知県警主導）を小学校の体育館をお借りして実施する際にそこの生徒さんにも参加してもらえるようになりました。また、自治会単位の敬老会の催しに参加をし、交流を図っている事業所もあります。交流の場のやり方は工夫するいろいろありますよね。</p>
12	障がいのある人と地域の人とが交流できる場の提供	<p>[御意見]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いい取り組みだと思います。これも圏域の取り組みにしていただけるといいと思います。また移動支援の使い勝手の検証（使っている人の満足度）・すすんでいる市町の取り組みを調査するなど地域生活支援事業だからこそ長久手で必要な取り組みの提案があるといいと</li> </ul>
13	移動支援の支援員の人材育成	<p>[御意見]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いい取り組みだと思います。これも圏域の取り組みにしていただけるといいと思います。また移動支援の使い勝手の検証（使っている人の満足度）・すすんでいる市町の取り組みを調査するなど地域生活支援事業だからこそ長久手で必要な取り組みの提案があるといいと</li> </ul>

		思います。
14	成年後見制度の普及啓発及び理解促進	<p>[御意見] 今年度より尾張東部圏域成年後見センターを中心に「成年後見制度利用促進計画策定」の会議が始まりましたが、基本は市町だと思いますが、「後見センターに委託して終わり」という空気漂う会議になっている感じがします。</p> <p>圏域で利用促進のための全体計画（理念）の策定をしてもらい各論（各市町の取り組み）をいかに実施していくか、ということでの認識の一致と話し合いの場の設定をお願いしたい。</p>